



# やまがた ゆきみらい通信

第1号

発行所 やまがたゆきみらい推進機構  
〒995-0024 村山市榎岡笛田 4-5-1  
TEL:0237-47-8691 Fax :0237-55-5236  
Eメール kitamurasomu@pref.yamagata.jp

## 第一回運営幹事会 開催される

### ○幹事長に東山氏を選出

平成十九年十一月九日午後二時から県国際交流センター研修室（霞城セントラル2階）において第一回となる運営幹事会が開催されました。

協議では、運営幹事の中から東山禎夫氏（山形大学副工学部長）が幹事長に選出され、同氏が座長を務めて進行了しました。運営幹事会では、推進機構の今後の活動計画や運営体制について、活発な意見交換が行われました。

また、運営体制については、3つの専門部会を設置することになり、宅地内雪処理部会の部長には幹事長兼任で東山氏、屋根雪処理専門部会の部長には山畑信博氏（東北芸術工科大学教授）、利雪専門部会の部長には横山孝男氏（山形大学教授）がそれぞれ選出されました。

## やまがたゆきみらい 推進機構設立総会

### ○会長に大場氏を選出

平成十九年十月十二日に、村山総合支庁において、「やまがたゆきみらい推進機構」の設立総会が開催されました。

設立発起人として、山形大学工学部の大場工学部長、東北芸術工科大学総合研究センターの上原センター長、雪氷防災研究センター新庄支所の佐藤支所長、山形県消融雪システム研究会の桂木副会長、村山市の佐藤市長、村山総合支庁の小松支庁長らの呼びかけのもと、設立総会までに、26の法人と107の個人から賛同が寄せられ、会員の仮登録が受け付けられています。

この機構は、今後の雪対策において、産・学・官・民の連携ネットワークを構築し、それぞれの機関が有するノウハウを連携・融合し、具体的で実用的な

克雪技術の開発や改良に資することや、雪の冷熱利用等まで含めた取り組みを行うことなども期待されています。こうした取り組みにより、降雪がもたらす県民生活への影響を軽減することが、このような新たな組織を設立するに至った目的です。



大場会長と発起人諸氏

総会では、推進機構の会長に、山形大学工学部長の大場好弘氏が選出されました。

総会後には、佐藤雪氷防災研究センター新庄支所長から、「雪とのつきあい〜過去から未来へ〜」と題し記念講演が行われました。

## 入会金の納入について

\*\*\*お願いとお知らせ\*\*\*

入会金の納入手続きを開始いたしました。

郵便局に備え付けの払込書用紙（青印字の用紙）に必要な事項を記入し、左記の「ゆうちょ銀行」、「郵便振替口座」に払い込んでいただきますようお願いいたします。

また、3万円未満の払込みの場合には窓口利用で120円、ATMの利用で80円の料金ががかかります。（電信扱いだとさらに高くなりますので、通常払込で結構です）

これらにつきましては、会員の皆様からご負担していただくまいことをご了解いただきたくお願い申し上げます。

- ◆振替口座番号  
02250-1-69997
- ◆口座名称(加入者名)  
やまがたゆきみらい  
推進機構

## 第 1 回やまがたゆきみらいシンポジウム

～雪対策における産学官民連携シンポジウム～

日 時:平成 20 年 1 月 22 日(火)13:00～16:00

場 所:尾花沢市 悠美館 ハイビジョンホール

尾花沢市若葉町 1-8-25 TEL:0237-22-3746

内 容:「省エネで安価な屋根雪融雪装置の研究開発について」

福井県雪技術研究会

県内事例発表 2件(予定)

さる十一月九日の運営幹事会において、当面(三月末まで)の「やまがたゆきみらい推進機構」の取り組みが決定されましたので、皆様にお知らせします。

## 第 7 回尾花沢市雪対策シンポジウム in 尾花沢雪まつり

～雪との共存：雪国の協働参加型まちづくり～

日 時:平成 20 年 2 月 10 日(日)10:00～12:00

場 所:尾花沢市 悠美館 ハイビジョンホール

尾花沢市若葉町 1-8-25 TEL:0237-22-3746

内 容:「除雪ボランティアの継続的なコーディネート体制づくりと活動環境整備」

長野県社会福祉協議会 (予定)

「尾花沢市役所における雪冷房整備について」

山形大学教授 横山 孝男 氏

主 催: 尾花沢市、尾花沢市民雪研究会ほか

## やまがたゆきみらい推進機構 雪サロンの開催

日 時:平成 20 年 1 月下旬から 2 月上旬(予定)

場 所:山形市内 (予定)

内 容:雪対策における産学官連携の取り組み事例(予定)

\*パーティ 21 の月例会との共催事業として予定しています。

パーティ 21…山形大学の産学官連携ネットワーク組織

編集後記  
最近の地球温暖化というなかで、今年は、暖冬と思いきや十一月から大雪注意報が発令される事態になりました。果たして今年の冬はどうなることか。

## 第 2 回やまがたゆきみらいシンポジウム

～雪対策における産学官民連携シンポジウム～

日 時:平成 20 年 3 月中旬 (予定)

場 所:村山総合支庁 講堂 2F

山形市鉄砲町 2-19-68

内 容:「安全な雪下ろし(DVD作成)について」

「融雪槽実証試験」について

他 1件 (予定)